

品番 NTS(H) 62590DK9・NTS(H) 63590DK9

・器具の取り付けには電気工事士の資格が必要です。施工は必ず工事店に依頼してください。

施工説明

工事店様へ、この説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

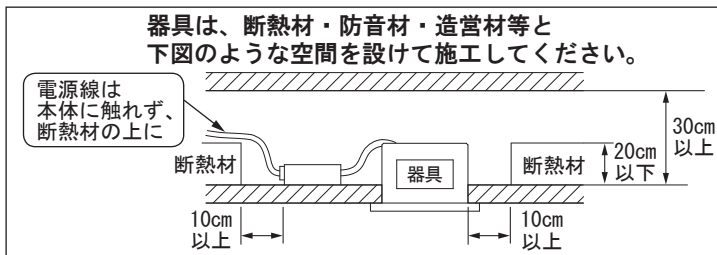
警告

●断熱材、防音材をかぶせた状態で使用しない。火災の原因となります。

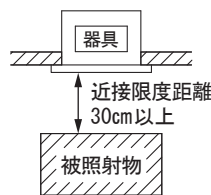
・住宅の断熱施工天井には、使用できません。



フローリング施工不可 グラスウール施工不可



- 施工は、取扱説明書にしたがい確実にを行う。施工に不備があると火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の改造および構成部品（LED、コネクタなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具の取り付け部以外の本体外郭が、天井内の造営物やダクト、電気配線等の設備に触れないように施工する。火災の原因となります。
- 製品に表示された電源電圧（定格電圧±6%）・周波数で使用する。指定外の電源電圧・周波数で使用すると、火災・感電・故障の原因となります。
- 水平天井埋込専用です。壁取り付けや天井直付け及び傾斜天井には取り付けない。火災・落下の原因となります。
- 器具と被照射物は30cm以上（近接限度距離）離す。近接限度距離内に被照射物が近づくおそれのある場所（ドア開閉範囲の上、家具の上、クローゼット・押入れの中等）では使用しない。過熱による火災の原因となります。
- 当社適合コントローラと必ず組み合わせてご使用ください。指定外使用は、火災および短寿命の原因となります。



注意

- 一般屋内用器具です。直射日光の当たる場所、水気の多い場所、湿気の多い場所、腐食性のガスの発生する場所では使用しない。火災・感電・サビの原因となります。
- 粉じんの発生・滞留する場所（工場、地下鉄や建物内にある駅など）では使用しない。火災・感電・落下・短寿命の原因となります。
- 軒下、屋側通路等の雨の吹き込みを受ける場所で使用しない。火災・感電・落下・サビの原因となります。
- 周囲温度は、5℃～35℃で使用する。指定外の周囲温度で使用すると、火災または短寿命の原因となります。
- 振動のある場所では使用しない。火災・感電・落下・取付面のスキマおよび変形の原因となります。
- ロックウールなどの柔らかい天井に取り付けしないでください。使用する場合は、天井裏面に石膏ボードなどで必ず補強してください。天井材損傷・器具ズレの原因となります。
- 器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する。けがのおそれがあります。

施工上のご注意

- 取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取り付けてください。サビや変色の原因となります。
- LEDにはバラツキがある為、同一商品でも商品ごとに発光色・明るさが異なる場合があります。ご了承ください。
- 照射距離が近い時や照射面によって、光ムラが気になる場合があります。ご了承ください。
- 突入電流対は、定格に記載の通りです。
- リニューアルプレートと組み合わせる場合、リニューアルプレートの施工説明書をご確認ください。不備がありますと、感電・火災の原因となります。
- 振動のある場所で使用しないでください。配光が変化する原因となります。
- 接続できる器具の台数や配線長、その他取扱いは当社適合コントローラの承認図や取扱説明書に従ってください。



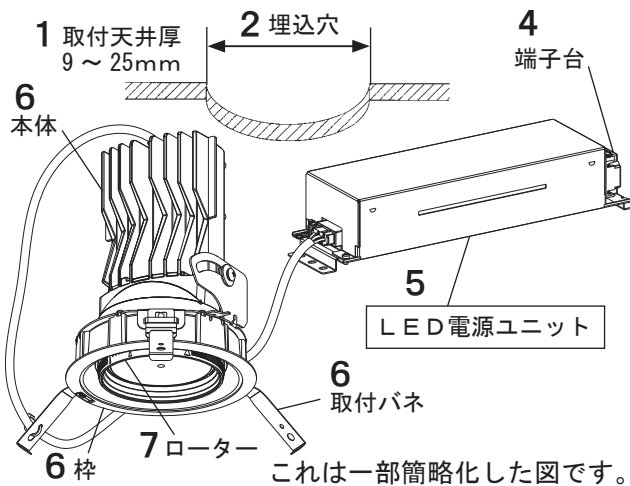
各部のなまえと取り付けかた



注意

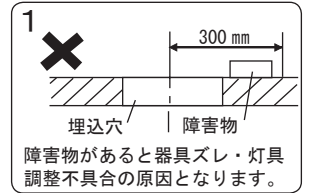
器具の取り付け取り外しは手袋など保護具を使用する
けがのおそれがあります。

- ロックウールなどの柔らかい天井では、補強した場合でも施工・取り外し時には天井材を損傷する場合があります。また、天井と枠の間に隙間ができ、光漏れが発生する場合があります。



1. 取付前の確認をする

- ・器具質量約1.9kgに十分に耐えるよう取付部の強度を確保する。不備がありますと器具ズレの原因となります。
- ・天井裏には埋込穴の中心から半径300mmの間に障害物がないことを確認する。不備がありますと器具ズレ・本体調整不具合の原因となります。

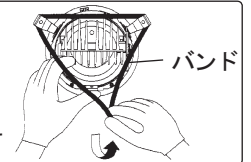


2. 天井にφ125⁺²mmの埋込穴をあける

- ・不備がありますと器具落下、天井材と枠の隙間の原因となります。
- ※精度良く埋込穴をあけるのにダウンライトカッターをおすすめします。

3. バンドを取り外す

- ①取付パネのバンドより下側部分を押しながら
- ②バンドを外す



4. 端子台に電源線、アース線、信号線を接続する

- ・器具故障の原因となりますので信号線用の端子には絶対に電源線を接続しないでください。

電源線の接続

- ①端子台のL・N端子に電源線を、アース端子にアース線を接続する。
 - ・各線を交差させたりしないでください。
 - ・電源線は端子台の差し込み穴に確実に差し込んでください。
 - ・挿入後、引っ張って抜けないことを確認してください。
 - ・電源線用端子台の送り容量は20Aです。但し、適合コントローラと組み合わせる場合、適合コントローラの負荷容量を確認してください。接続が不完全な場合、または容量がオーバーした場合、火災・感電の原因となります。
- ②接地工事(D種接地工事)を確実に行う。接続に不備があると感電の原因となります。

信号線の接続

- ③信号線を端子台の信号線差し込み穴に接続する。
 - ・信号線は差し込み穴に確実に差し込んでください。極性はありません。
 - ・信号線は電源線と束ねないでください。誤動作の原因となります。
 - ・挿入後、引っ張って抜けないことを確認してください。
 - ・端子台(調光側)の送り容量は350mAです。接続が不完全な場合、または容量がオーバーした場合、火災・感電の原因となります。

5. 天井内にLED電源ユニットを設置する

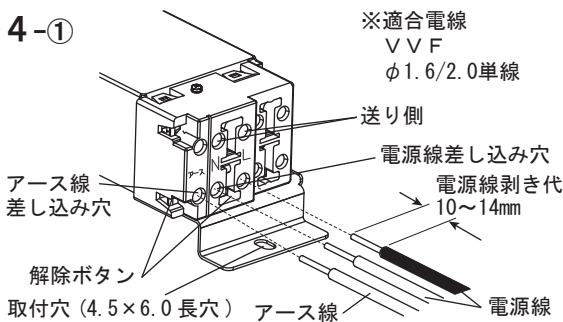
- ・電源線の入線部分が上を向かないように取り付けてください。トラッキングによる火災・発火の原因となります。

6. 本体を取り付ける

- ・取付パネ(3カ所)を矢印方向へ縮めて、埋込穴に押し込む。不備がありますと、落下の原因となります。
 - ・器具とLED電源ユニットの配置は図の通りとする。不備がありますと感電・本体調整不良の原因となります。
- 注) 石膏ボードに取り付けた器具を取り外す場合は、枠をゆっくり引き下げ、取付パネ(3カ所)を押し縮めながら取り外す。不備がありますと天井材破損の原因となります。

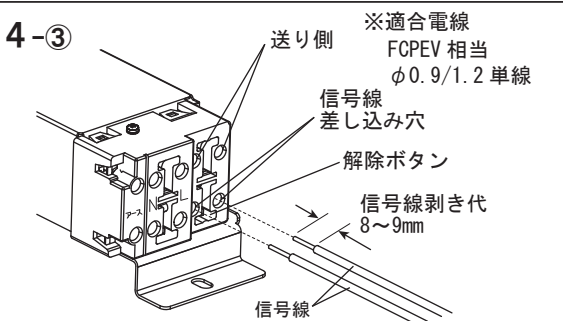
(次項へつづく)

4-①

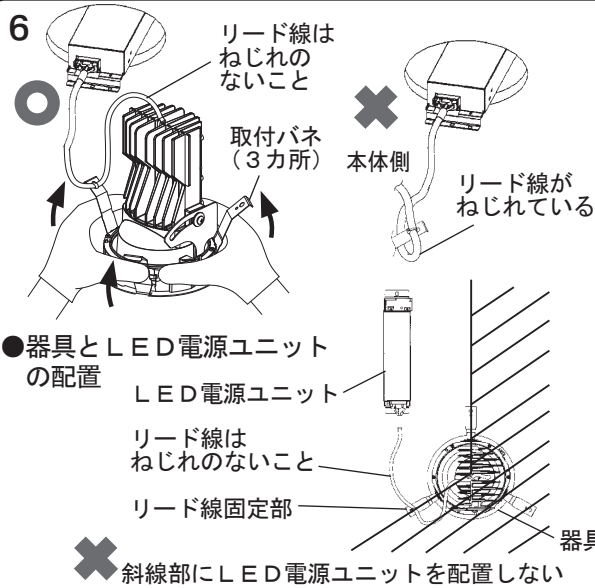


※適合電線
VVVF
φ1.6/2.0単線

4-③



※適合電線
FCPEV相当
φ0.9/1.2単線



●器具とLED電源ユニットの配置

LED電源ユニット

リード線はねじれないこと

リード線固定部

器具

斜線部にLED電源ユニットを配置しない



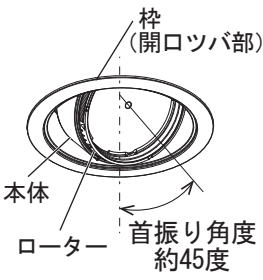
各部のなまえと取り付けかた

(つづき)

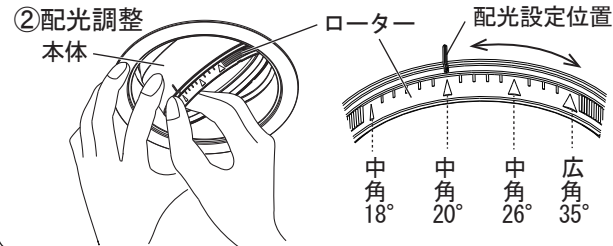
7 ①水平回転方向調整



③首振り角度調整



②配光調整



7. 照射方向・配光を調整する

- ①水平回転方向を調整する。
 - ・ローターを押し上げて、首振り角度を最大(約45度)まで調整してください。※配光設定位置の反対側を押してください。枠を押さえ、本体とローターを持って左図の範囲で調整してください。
 - ②配光を調整する。
 - ・本体を押さえながら、ローターをつまんで回転させ、配光設定位置に目盛りを合わせて調整してください。※出荷時の配光は中角20度設定になっています。
 - ③首振り角度を調整する。
 - ・ローターを押し上げて左図の範囲で調整してください。
- 調整範囲以上に無理に回転させたり調整したりしないでください。器具ズレの原因となります。

リニューアルプレート取り付け時の器具の取り外しについて

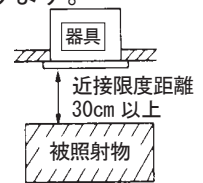
- ・先端にビニルテープなどで傷付防止したマイナスドライバーなどを取付面と器具の間に差し込み、引き下げてください。
- 注) 取り外しの際は、取付面と器具が傷つかないようにしてください。

ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みの上、正しくお使いください。

安全に関するご注意

警告

- 器具の改造および構成部品（LED、コネクタなど）の交換はしない。火災・感電・落下の原因となります。
- 布や紙など燃えやすいもので覆ったり、かぶせたりしない。火災の原因となります。
- 異常を感じたら速やかに電源を切り、販売店・工事店に相談する。火災・感電の原因となります。
- 器具と被照射物は30cm以上（近接限度距離）離す。近接限度距離内に被照射物、可燃物等（ドア開閉範囲、家具、布、紙等）を近づけない。過熱による火災の原因となります。



注意

- 器具の下に温度の高くなる物（ストーブ・ガスレンジ等）や湿気を発生させる物を置かない。火災・感電の原因となります。
- LEDを直視しない。目の痛みの原因となることがあります。
- お手入れの際は必ず電源を切って行う。感電・やけどの原因となります。
- 照明器具には寿命があります。設置して10年（※1）経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。 ※1：使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯です。
 - ・ LED光源は寿命が来ても、暗くなりますが点灯し続けます。点灯できるからといって継続して使用が可能というわけではありません。
 - ・ 周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
 - ・ 1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
 - ・ 3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。点検せずに長期間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

- LED照明器具の光源寿命（※2）は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは、異なります。）
- ※2：光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

使用上のご注意

- LEDには光のバラツキがある為、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
- 電源を切った直後に電源を再投入した場合、LEDが微発光する場合があります。
- 低い調光域では色温度のズレが大きくなる場合があります。
- LEDは交換できません。
- レンズ部に向けて殺虫剤を吹きかけないでください。レンズの汚れ・破損の原因となります。
- シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。変色・変質・強度低下による破損の原因となります。
- ラジオ、テレビや赤外線リモコン方式の機器は照明器具から離してご使用ください。雑音が入ったり正常に動作しない場合があります。
- 同一器具またはシリーズ器具で点灯及び消灯時のフェードのしかたに違いが出る場合があります。
- 点灯、消灯時発光色が乱れる場合があります。
- 適合コントローラの仕様により、本器具仕様の調光・調色範囲以外でも設定の操作ができますが、本器具仕様の範囲でしか動作しません。指定範囲内でご使用ください。
- 周囲温度が高い場合、点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。
- 電源電圧変動などの影響により瞬間的に明るくなったり暗くなったりすることがあります。
- 光出力比(%)と目で感じる明るさ感には相違がある場合があります。
- バーコードリーダーの種類によっては、器具付近で使用した場合、読み取り感度が鈍くなる場合があります。その場合には、器具との距離を離すか、器具の光を遮蔽するなどの対策を講じてください。
- 電源線に大きなノイズが重畳されている環境では、チラツキ等が発生する可能性があります。

保証について

- 保証について この商品の保証期間は1年間です。消耗品は除きます。詳細は弊社カタログをご参照ください。但し、LED電源は3年間です。
- 保証書について 保証書が必要な場合は、弊社代理店または弊社営業所へお申し出ください。



お手入れ



注意

必ず電源を切って行ってください。
感電・やけどの原因となります。

<器具の清掃について>

・水または中性洗剤を用いて、汚れた部分を軽く拭き取ってください。
シンナー・ベンジン・アルカリ系洗剤で拭かないでください。
変色・変質・強度低下による破損の原因となります。



■商品仕様

本商品は配光可変器具です。配光調整方法は、「各部のなまえと取り付けかた」を参照してください。

品番	光色	調光範囲
NTS(H)62590DK9 NTS(H)63590DK9	電球色(約2700K) ~ 昼光色(6500K)	各色 約1~100%

※適合コントローラの仕様により、本器具仕様の調光・調色範囲以外でも設定の操作ができますが、器具が指定する操作範囲内でご使用ください。

■定格

品番	定格電圧	周波数	消費電力	入力電流	突入電流
NTS(H)62590DK9	AC100V	50/60Hz	26.5W	0.265A	8A
	AC200V			0.140A	17A
	AC242V			0.120A	20A
NTS(H)63590DK9	AC100V	50/60Hz	39.5W	0.395A	8A
	AC200V			0.200A	17A
	AC242V			0.170A	20A

※4000K時

オプション(別売)について

・NTS(H)62590DK9には、下記のオプションが取り付け可能です

種類	品番	備考
拡散フィルター	NTS91026	※オプションの併用はできません。 単独で使用してください。
ディフュージョンフィルター	NTS91031	
スプレッドフィルター	NTS91033	



注意

不備がありますと
落下の原因となります。

注)オプションを使用しない場合でも、
バネを取り外さないでください。
パネルが外れ、落下の原因となります。

<オプションの取り付け>

拡散フィルター・ディフュージョンフィルター

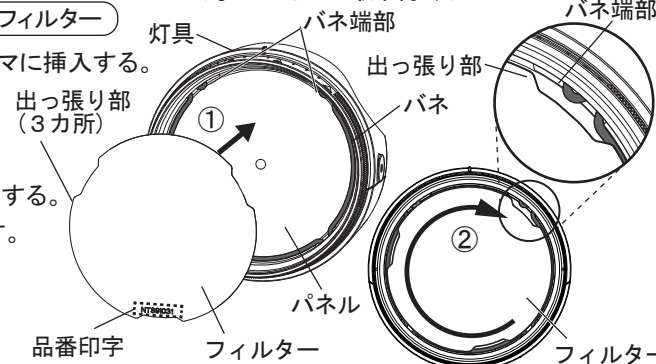
フィルターをバネとパネルのスキマに挿入する。

- ・品番印字を読み取ることができる面を手前側にする。
- ・フィルターを回転させながら、出っ張り部(3カ所)をバネ端部よりバネの下に挿入する。

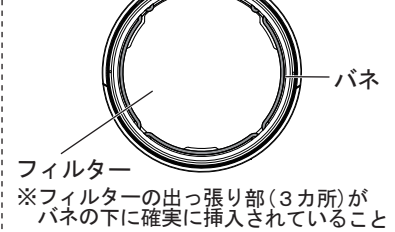
※逆回転でも取り付け可能です。

※取り付け状態は

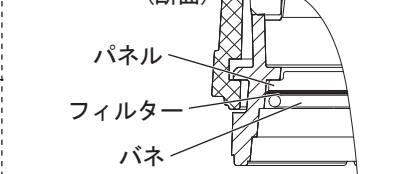
<図1・図2>を参照ください。



<図1>



<図2> (断面)



スプレッドフィルター

フィルターをバネとパネルのスキマに挿入する。

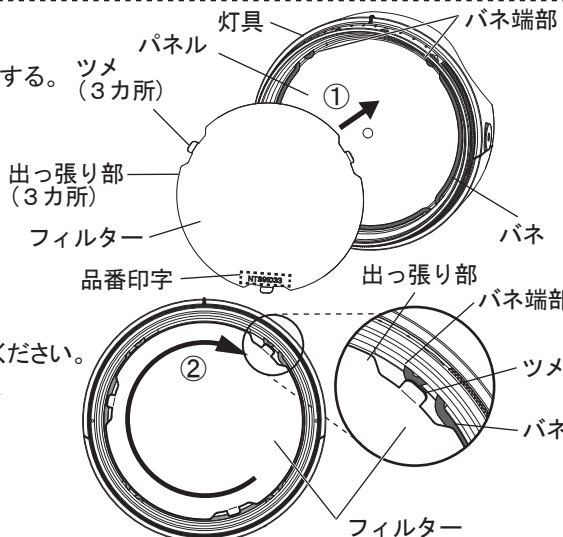
- ・品番印字を読み取ることができる面を手前側にする。
- ・ツメ(3カ所)が手前側に立ち上がっていることを確認する。
- ・フィルターを回転させながら、ツメ(3カ所)はバネの上になるように、出っ張り部(3カ所)をバネ端部よりバネの下に挿入する。

※逆回転でも取り付け可能です。

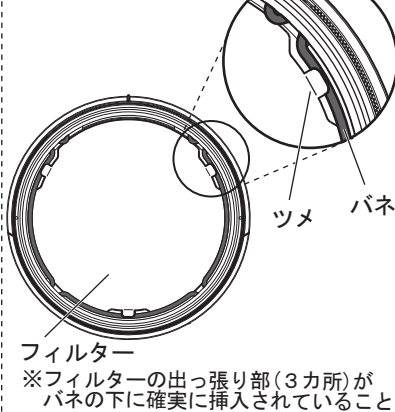
※取り付け状態は<図2・図3>を参照ください。

《スプレッドフィルター使用時のご注意》

配光を調整した場合や振動により、フィルターがずれて光の広がりが変わる場合があります。その場合は、フィルターの方を再調整してください。



<図3>



※フィルターの出っ張り部(3カ所)がバネの下に確実に挿入されていること

